

留学を終えて

聖マリア女学院高等学校 重松 玲（カナダ）

私は、2018年の9月から2019年の6月までの10ヶ月間、カナダのブリティッシュコロンビア州メープルリッジ学区、ガリバルディセカンダリースクールに留学していました。ブリティッシュコロンビア州は西海岸側に位置し、バンクーバーやヴィクトリア等の都市を有します。メープルリッジ学区はバンクーバーまで車で1時間、公共交通機関を用いて2時間程度で行くことのできる距離でありながら、山河や動物に恵まれたエリアです。

<学校生活>

私が通っていたガリバルディセカンダリースクールは、セカンダリースクールという名の通り**Grade8**から**12**まで、中学校2年生から高校3年生にあたる生徒たちが通い、メープルリッジ学区の最奥にあります。生徒数が多い学校ではなかったと思いますが、比較的留学生が多く、クラスによっては生徒の半数以上が留学生で占められているということもありました。校内でも様々な言語・文化が飛び交い、様々な国の風習を感じることができました。

授業は**Grade11**の生徒として、**ESL**、**Chemistry11**、**Pre-calculus11**、**Cafeteria**、**Social Study11**、**English11**、**Art11**、**Biology11**のクラスを1年間取っていました。（メープルリッジ学区は通年制を採用しているため1年間クラスが同じでしたが、他の形態としては取る授業を半年ごとに変えるセミスター制があります。）特色のあるクラスとしては、**ESL**という留学生担当の先生に教わる留学生向けの英語学習のクラス、**Pre-calculus**という数学のクラス、**Cafeteria**という学区のカフェテリアで提供される料理を作るクラスがありました。私は最初に配られた科目表からあまり変更をせず、必修を全て取っていたためアカデミックな科目が多いですが、演劇や歌、ダンスなどの芸術系のクラス、技術系のクラス、コンピューターなどのクラス、フランス語・日本語のクラス、哲学や心理学などのクラスもこの学校では提供されています。私がよく印象に残っているのは**English**のクラスです。**English**のクラスは国語にあたり、読めない、聞けない、話せない、本当に全く何も分からない状況で飛び込んでしまった自分には本当に大変でした。最初の課題が詩の解説だったのですが、短めで難しくない（らしい）詩のはずが、本当に何を言っているかがサッパリ分からず、一つ一つ単語の意味を確認し、日本語に全部訳してみてもより訳が分からなくなり、先生やホストに聞きに行ってもなぜそうなるのか分からず、散々な結果でした。1年間授業を通してエッセイを書いたり本を読んだりプレゼンを作ったりする中で、この努力は確実に自分の力になったと信じています。このクラスをパスできたと聞いた時はとても嬉しく、良い経験をしたのだと思えるようになりました。

<ホストファミリー>

10ヶ月間の学区滞在中に3軒のホストファミリーにお世話になりました。最も長期間滞在したのは最初のホストファミリーで、警察官のホストファザー、市役所のような場所に努めるマザー、アルバイトをしているシスターと大学生のシスター、そしてスペインからのルームメイトという環境のご家庭に約7ヶ月間滞在しました。様々なことを経験したとても思い出がたっぷりのファミリーです。一番印象に残っているイベントは、クリスマスにケロウナという都市にあるファザーの実家に行ったことです。ケロウナでの滞在はとても思い出深く、1週間という短い期間でしたが、雪山に行ったり親戚一同の食事を楽しんだり、カナダのクリスマスやたくさんのことを体験することができました。またケロウナまで車で5時間ほどかかるので道中の車で寝てしまったのですが、そのことでホストファミリーと一緒にいる状況にリラックスできていることを実感し、ささいなことかもしれませんが、忘れられない出来事の1つとなりました。

3軒目のホストファミリーも2ヶ月ほどの短い間ではありましたが、とても優しい方々で良い経験ができました。ホストファザーはジムを経営しており、マザーはそのジムのインストラクター、子供たちも武道を嗜んでいるというアクティブなご家庭で、私が使っていた部屋にもファザーが出た大会のポスターやメダル、チャンピオンベルト等が飾ってあるほどで、最初は驚きました。また、ファザーとマザーがビーガンの方だったため、ビーガンの方達の食事生活なども勉強になりました。

本当に三者三様という言葉がピッタリで、それぞれのご家庭で異なる経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

何もできない状況で留学をしたため、学校生活に慣れたりホストファミリーとの生活に馴染んだりするのに時間もかかり、苦しい気持ちで過ごさなければならない期間もありました。しかしながら、10ヶ月間周りの人達に支えられ、なんとか無事に帰国することができ、本当に良い経験をすることができたと思います。カナダでお世話になった方々、そして日本で私の留学を支えてくださった方々には感謝の気持ちしかありません。せっかくいただいた貴重な経験を、お世話になった方々になんらかの形でお返しできるように、今後活かしていけたらと思っています。本当にありがとうございました。